

ダイヤデータの構造は以下の仕様になっています。

行程, 車両, 前駅発車時刻, 美馬駅発車時刻, 予備

使用できる文字はすべて半角の数字・空白・カンマだけです。1行ずつ改行してください。

各項目間は必ず1つのカンマで区切ってください、カンマは省略できません。

最大行数は99行までです(最終データ込み100行まで)。最終データは必須です。

データ名は、半角・全角可、拡張子は.txt、文字コードはUTF-8、改行コードはLF

として下さい。行程の前後には空白文字は付けないで下さい。

【各項目の説明】

項目名	指定文字	説明
行程	1, 2 3, 4, 7, 8, 9	1: 下り列車 翌松→美馬→桐ヶ谷 2: 上り列車 桐ヶ谷→美馬→翌松 3: 上り方折返し 翌松→美馬→翌松 4: 下り方折返し 桐ヶ谷→美馬→桐ヶ谷 7: 下り始発列車 美馬→桐ヶ谷 8: 上り始発列車 美馬→翌松 注: 終着列車は行程1, 2を使用 9: 最終データ 最終行には必ず指定してください。
車両	数字	前駅出発・初期配置時点での車両画像を指定します。 列車種別はこの車両指定と関連付けされています。 牽引列車は、行程4, 7, 8は指定できません。 貨物列車は、行程1, 2以外は指定できません。 詳細は 列車編成表マニュアル をご覧ください。
前駅発車時刻	0~59	前駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。 行程7, 8(始発)は、0とします。 重要 各行は前駅発時刻の昇順に並べてください。
美馬駅 発車時刻	0~59	美馬駅の発時刻(分単位)です、時は省略します。 行程1, 2で終着列車の場合は、0とします。 折返しに必要な時間は電車・プッシュプルは 1分以上 、旅客 牽引列車は 5分以上 を見込んでください。
予備	0	使用しません。0としてください。

【注意事項】

数字入力注意

全ての数字には**前ゼロは付けないで下さい、誤動作の原因**となります。

出発間隔、駅間運転時間について

前駅ー美馬間の運転時間は2分です。前駅出発間隔は**2分以上**の時間を開けてください。
美馬駅出発は1分で続行可能です。

データの並び順

データは**前駅発車時刻が昇順**になる様に順序を確認して記述してください。
始発列車はデータの先頭に記述して下さい。
データの最後には最終データを記述してください。

始発・終着列車

始発・終着列車はそれぞれ**上下合わせて3列車まで**設定可能です。
下り始発車両は留置123の順、上り始発車両は留置321の順に配置されます。
牽引列車・貨物列車は始発・終着に指定できません。
終着列車は到着後留置線に移動させます、移動後再度運行する事は出来ません。

【データ作成からプレイまで】

- ① エディターやメモ帳などでダイヤを入力します。
PC等で入力してスマホへコピーする場合、文字コードはUTF-8、改行コードはLFである事を確認してください。
- ② アプリを起動して、サブメニューを開き、[ダイヤ読込]ボタンをタップします。
- ③ データ選択メニューが開きますので使用するダイヤを選択してください。

アプリでのデータ読み込み時のチェックは上記仕様の一部でチェックを省略しています。
チェックOKでも正常に動かない場合は、項目間の組み合わせを確認してください。
エラーが分からない時や、正常に動かない時は作成されたデータを添付していただき、
foxworks@haruki-kb.com まで送っていただければお調べ致します。